



コール ピックアップ グループの管理

この章では、BAT を使用してコール ピックアップ グループをセットアップする方法について説明します。コール ピックアップを使用すれば、該当するピックアップ グループ番号にダイヤルする際に、自分のグループ内または他のグループ内の着信コールをピックアップすることができます。

- [BAT を使用したコール ピックアップ グループの設定, 1 ページ](#)
- [BAT.xlt を使用したコール ピックアップ グループ用 CSV データ ファイルの作成, 2 ページ](#)
- [テキスト エディタを使用したコール ピックアップ グループ用の CSV データ ファイルの作成, 3 ページ](#)
- [既存のコール ピックアップ グループ CSV データ ファイルの編集, 4 ページ](#)
- [コール ピックアップ グループ用 CSV ファイルの設定項目, 5 ページ](#)
- [BAT を使用した CUCM データベース内のコール ピックアップ グループの更新, 6 ページ](#)
- [データベースのピックアップ グループを更新するための BAT 設定項目, 7 ページ](#)
- [コール ピックアップ グループ関連のトピック, 8 ページ](#)

BAT を使用したコール ピックアップ グループの設定

BAT を使用してコール ピックアップ グループを設定する前に、次の情報を確認してください。

- コール ピックアップ グループ設定を初めて追加する場合は、BAT.xlt から CSV ファイルを作成することも、テキストベースのカスタム CSV ファイルを作成することもできます。
- コール ピックアップ グループ設定を更新する場合は、既存の CSV ファイルを編集することも、テキストベースのカスタム CSV ファイルを作成することもできます。
- 各ピックアップ グループ名（およびその設定）用に、それぞれ 1 行を指定します。たとえば、ピックアップ グループの情報を入力する場合、次のフォーマットを使用できます。

- (ピックアップグループ名、ピックアップグループ番号、パーティション、他のピックアップグループ名 - メンバー 1...他のピックアップグループ名 - メンバー 10)
 - マーケティング、7815、パート 1、マーケティング、部長、トレーニング
- 新しくピックアップグループを追加する場合、ピックアップグループ名やピックアップグループ番号のような必須フィールドすべてに値を入力する必要があります。この手順で必須と見なされるエントリには、ファイルで情報を提供する必要があります。
 - ファイルから情報を削除しても、その情報を空白のままにしておくと、Cisco Unified Communications Manager データベースからその情報は削除されません。つまり、空白の値ではデータベース内の既存の値は上書きされません。値を更新すると、データベース内の既存の値が上書きされます。
 - 適切な CSV ファイルを Cisco Unified Communications Manager クラスターの最初のノードにアップロードします。
 - CSV ファイルを作成または変更した場合はいつでも、その CSV ファイルを BAT に挿入し、Cisco Unified Communications Manager データベースを更新する必要があります。

BAT.xlt を使用したコールピックアップグループ用 CSV データ ファイルの作成

BAT スプレッドシート BAT.xlt を使用して、コールピックアップグループ用の CSV ファイルを作成できます。



- (注) BAT.xlt ファイルは Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードに存在しますが、サーバ上には通常、Microsoft Excel がインストールされていません。その場合は、ファイルを最初のノードからコピーして Microsoft Excel がインストールされたローカルマシンに移動します。

はじめる前に

BAT を使用してコールピックアップを設定する前に、[BAT を使用したコールピックアップグループの設定](#)、(1 ページ) に記載されている重要な考慮事項を確認してください。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ファイルをアップロード/ダウンロード (Upload/Download Files)] を選択します。

[ファイルの検索/一覧表示 (Find and List Files)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 2** [検索 (Find)] をクリックして、BAT.xlt ファイルをダウンロードします。
- ステップ 3** Microsoft Excel がインストールされているローカルマシンに BAT.xlt をコピーします。
- ステップ 4** BAT スプレッドシートを開くには、BAT.xlt ファイルを探してダブルクリックします。
- ステップ 5** スプレッドシートの機能を使用するように求められたら、[マクロを有効にする (Enable Macros)] をクリックします。
- ステップ 6** [コールピックアップグループ (Call Pickup Group)] タブをクリックします。
- ステップ 7** コールピックアップグループ設定を列に入力します。
構成時の設定の説明については、[表 1: コールピックアップグループの設定項目, \(5 ページ\)](#) を参照してください。
(注) すべてのピックアップグループを入力するまで、[ステップ 7, \(3 ページ\)](#) を繰り返します。
- ステップ 8** Excel スプレッドシート形式を CSV ファイルに転送するには、[BAT 形式にエクスポート (Export to BAT Format)] をクリックします。
ローカルマシン上の C:\XlsDatafiles に CSV ファイルが自動的に保存されます。
- ヒント** 別の場所を選択するには、[参照 (Browse)] をクリックします。

次の作業

CSV ファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードします。

CSV ファイルを BAT に追加し、そのファイルを挿入することによって、Cisco Unified Communications Manager データベースを更新する必要があります。

関連トピック

[サーバからのファイルのダウンロード](#)

[コールピックアップグループ関連のトピック, \(8 ページ\)](#)

[BAT を使用した CUCM データベース内の CMC または FAC の更新](#)

[ファイルのアップロードとダウンロード](#)

[サーバへのファイルのアップロード](#)

テキストエディタを使用したコールピックアップグループ用の CSV データ ファイルの作成

テキストエディタを使用して、コールピックアップグループ用のテキストベースの CSV データファイルを作成できます。カンマ区切り値 (CSV) ファイルでは、テキスト情報が表形式で提供され、値をカンマで区切った ASCII テキストの行が含まれています。

関連トピック

[コールピックアップグループ用のテキストベースの CSV ファイルの作成](#)

[コールピックアップグループ関連のトピック, \(8 ページ\)](#)

既存のコールピックアップグループ CSV データ ファイルの編集

既存のコードを更新するには、テキストエディタを使用して手動で既存の CSV ファイルを更新するか、新しい CSV ファイルを作成します。



注意

ピックアップグループを更新すると、既存のその他のピックアップグループの関連付けが解除されます。その他のピックアップグループのフィールドを空白のままにしないでください。ピックアップグループに関連付けるその他のピックアップグループすべてを、続けて入力します。

既存のレコードのどの部分も変更できますが、ピックアップグループ名を含める必要があります。

手順

- ステップ 1** 既存の CSV データ ファイルを編集するには、Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードからローカルワークステーションに CSV ファイルをダウンロードします。
- ステップ 2** テキストエディタを使用して、既存の CSV ファイルを開いて編集します。既存の設定を削除するか、新しいコールピックアップグループを追加するか、既存の設定を更新します。設定の説明については、[表 1：コールピックアップグループの設定項目, \(5 ページ\)](#)を参照してください。

例：

コールピックアップグループ CSV ファイルを更新するには、

「Marketing,,Marketing,Managers,Training」と入力できます。ここで Marketing は必須のピックアップグループ名です。Marketing、Managers、および Training は、ピックアップグループ Marketing に関連付けられたその他のピックアップグループ名です。

注意 既存のレコードのどの部分も変更できますが、ピックアップグループ名を含める必要があります。ピックアップグループを更新すると、既存のその他のピックアップグループの関連付けが解除されます。その他のピックアップグループのフィールドを空白のままにしないでください。ピックアップグループに関連付けるその他のピックアップグループすべてを、続けて入力します。

次の作業

CSV ファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードします。

CSV ファイルを BAT に追加し、そのファイルを挿入することによって、Cisco Unified Communications Manager データベースを更新する必要があります。

関連トピック

- [サーバからのファイルのダウンロード](#)
- [コールピックアップグループ関連のトピック、\(8 ページ\)](#)
- [BAT を使用した CUCM データベース内の CMC または FAC の更新](#)
- [サーバへのファイルのアップロード](#)

コールピックアップグループ用 CSV ファイルの設定項目

次の表に、コールピックアップグループの設定項目の説明を示します。

表 1: コールピックアップグループの設定項目

設定/カラム	説明
CPG 用 CSV ファイル	
[ピックアップグループ名 (Pickup Group Name)]	この必須フィールドには、一意のコールピックアップグループ名を 50 文字以下の英数字で入力します。
[ピックアップグループ番号 (Pickup Group Number)]	この必須フィールドには、ユーザが着信コールをピックアップするときに入力するピックアップグループ番号を、24 桁以下で入力します。
パーティション	<p>電話番号 (ピックアップグループ番号) が属するルートパーティションを選択します。</p> <p>(注) この電話番号 (ピックアップグループ) は、複数のパーティションで表示される可能性があります。</p> <p>(注) [ピックアップグループ番号 (Pickup Group Number)] と [パーティション (Partition)] の組み合わせは一意である必要があります。</p> <p>このフィールドは任意です。</p>

設定/コラム	説明
[他のピックアップグループ名 - メンバー (x) (Other Pickup Group Name-Member(x))]	新しいピックアップグループに関連付ける他のピックアップグループの名前を入力します。このオプションフィールドでは各ピックアップグループを最大 10 の他のピックアップグループに関連付けることができます。

BAT を使用した CUCM データベース内のコールピックアップグループの更新

Cisco Unified Communications Manager を更新するには、BAT を使用してコールピックアップグループ CSV データ ファイルを挿入する必要があります。

はじめる前に

Cisco Unified Communications Manager データベース内のピックアップグループを更新するには、その前に、コールピックアップグループ CSV ファイルを作成または編集して、それを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードする必要があります。

手順

-
- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)]>[コールピックアップグループ (Call Pickup Group)]>[コールピックアップグループの挿入 (Insert Call Pickup Groups)]の順に選択します。
[ピックアップグループの挿入 (Insert Pickup Groups)]ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] ドロップダウンリストボックスで、更新されたコールピックアップグループを含む CSV ファイルを選択します。
ヒント 挿入するファイルの内容を表示するには、[ファイルの表示 (View File)]をクリックします。
- ステップ 3** コールピックアップグループの既存のリストを更新した場合は、[既存の設定の上書き (Override the existing configuration)]チェックボックスをオンにします。
設定の説明については、[データベースのピックアップグループを更新するための BAT 設定項目](#)、(7 ページ) を参照してください。
- ステップ 4** [ジョブ情報 (Job Information)]領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 5** 挿入方法を選択します。次のいずれかを実行します。
- すぐにピックアップグループを挿入する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)]をクリックします。
 - 後でピックアップグループを挿入する場合は、[後で実行 (Run Later)]をクリックします。
- ステップ 6** ピックアップグループを挿入するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)]をクリックします。

[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブをスケジュールまたはアクティブ化します。

関連トピック

- [BAT ログ ファイル](#)
- [ジョブのスケジュール設定の管理](#)
- [コールピックアップグループ関連のトピック, \(8 ページ\)](#)
- [サーバへのファイルのアップロード](#)

データベースのピックアップグループを更新するための BAT 設定項目

次の表に、ピックアップグループの BAT 更新に関する、構成時の設定の説明を示します。

表 2: CSV ファイルを挿入するための BAT の設定

BAT の設定	説明
ファイル名 (File Name)	ドロップダウン リスト ボックスから、挿入するコールピックアップ ファイルを選択します。
既存の設定の上書き (Override the existing configuration)	<p>既存の設定のピックアップグループを更新する場合、このチェックボックスが適用されます。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、他のピックアップグループ名とメンバーが、挿入するファイルに含まれている情報で上書きされます。このチェックボックスをオンにしていない場合は、ログ ファイルにエラーが書き込まれ、他のピックアップグループ名が既に存在していることを示します。従って、更新は行われません。</p> <p>(注) 各ピックアップグループについて、[ピックアップグループ番号 (Pickup Group Number)]と[パーティション (Partition)]が一意であることを確認してください。</p> <p>(注) ピックアップグループの更新中は、[ピックアップグループ番号 (Pickup Group Number)]と[パーティション (Partition)]の値は無視され、既存の[他のピックアップグループ (Other Pickup Groups)]の関連付けは解除されます。</p>

コールピックアップグループ関連のトピック

- [BAT を使用したコールピックアップグループの設定, \(1 ページ\)](#)
- [BAT.xlt を使用したコールピックアップグループ用 CSV データ ファイルの作成, \(2 ページ\)](#)
- [テキストエディタを使用したコールピックアップグループ用の CSV データ ファイルの作成, \(3 ページ\)](#)
- [既存のコールピックアップグループ CSV データ ファイルの編集, \(4 ページ\)](#)
- [コールピックアップグループの削除](#)
- [コールピックアップグループ用 CSV ファイルの設定項目, \(5 ページ\)](#)
- [BAT を使用した CUCM データベース内のコールピックアップグループの更新, \(6 ページ\)](#)
- [データベースのピックアップグループを更新するための BAT 設定項目, \(7 ページ\)](#)
- [コールピックアップグループ用のテキストベースの CSV ファイルの作成](#)